

第2学期始業式

「自立」と「孤立」

いよいよ2学期がスタートしました。充実した夏休みを過ごしたでしょうか。夏休み中は事件・事故の報告もありませんでした。一安心です。また、部活動において、新型コロナ感染症の影響で、例年通りとは行かないまでも交歓試合、練習試合、合同練習、合宿と活発だったと聞いています。

さて、2学期は1年の中で一番長くそして劇的な変化のある4ヶ月です。自然環境、身の回りにある植物そして私たち自身にも1年の中で最も大きな変化を示す期間です。

季節は夏から秋、そして冬へと巡ります。

植物は春に芽吹いてから、夏の期間、土壌や空気、太陽の光を浴びて自分の体の元となる養分を取り込んで、懸命に自分自身を成長させ、結果実りの秋と呼ばれるように実を付けたりもします。さらに紅葉し、また落葉します。これらは次の世代へ命をつなぐための変化をしています。

先にも言いましたが、皆さんも劇的に大きく成長する可能性のある2学期です。ただ、大きく成長する生徒と、一方で期待していたけれど何か少し物足りない生徒もいます。その違いはどういう行動に伴って出てくるのでしょうか。

いろいろ要因はありますが、実は大きく成長する生徒には、ある共通点があります。それは積極的に周りにアドバイスを求めるということです。ときには隣に座る友達にも、後輩にもそしてもちろん先輩や先生方、家族にもいろいろな機会を捉えてアドバイスを求めてきます。多くの情報の中から、取捨選択をして、意欲的に効率よく取り組んでいきます。謙虚な姿勢も併せ持ちますから、非常に成長が速いのです。このような人物を「自立」した人物と言います。

対して、今ひとつ物足りないと思われる生徒は、誰にも相談なく自分の考え方・都合だけで発言・行動します。そしていい結果が得られないと言い訳をし、他人のせいにしてしまいます。あげく、周囲の人に迷惑をかけてしまいます。ま

た迷惑をかけていることすら気づいていない。そういう人にはアドバイスも集まってきませんよね。このような人物を「孤立」した人物と呼びます。

どうか皆さん積極的にアドバイスを求めてみてください。日ごろの何気ない会話の中にも多くのアドバイスがあり、また不安を解消できたりもします。

特に3年生の皆さん、勝負の4ヶ月となります。後悔することのないよう皆さんにとって最良の選択ができるよう励んでください。そのためのアドバイスを積極的に求めてみてください。

3年生に限らず、ここにいる皆さんにとって、実りの秋となるよう祈って、式辞とします。

愛媛県立八幡浜高等学校

校長 菊地 英明